

神奈川大学派遣交換留学生 近況報告書（初回）

所属	人間科学部	人間科学科	学科 専攻
派遣先大学 (国)	仁川大学校 (大韓民国)		
所属プログラム・ 学部・研究科	人文学部 日語日文学科		
報告書提出日	2019年3月23日		
留学予定期間	2019年3月～2019年12月		

1. 渡航について

1.1. 出発前の準備

出願料・宿舎デポジット： 488750 (ウォン) /合計

航空券代： 70000 (円) /合計

ビザ申請関連費： 0 (円) /合計

その他（保険料）： 約 10 万 (円) /合計

ビザ取得の際に残高証明書は必要でしたか？ はい いいえ

12月下旬：大学から留学許可証が届くメールが届き、VISA 申請と航空券の準備を開始

このとき寮についてや VISA についてメールに書いてある

1月上旬：大学内生協で航空券を仮予約、VISA 発行後 E チケットを発行するため VISA 申請準備

1月中旬：VISA 申請、2日後には VISA 発行

1月下旬：航空券 E チケット発行、海外保険を申し込む（国際センターに）

2月上旬：保険料の支払い、韓国のバディの生徒から連絡が来る、すべての提出書類を提出完了

思ったより仁川大学から連絡が来ないため心配になったが無事に出発できたため、連絡を待つのが良い。仁川大学では寮に布団、シーツ、枕、ハンガーがないため、持参するか購入するか、相談しておくが良い。なお、コンセントが日本と形が違うため、ダイソーで売っている変換プラグを多く持参するのが良い。学校から 15 分くらいのところにマートがあるため、あまり日用品の購入には困らない。

1.2. 渡航について

韓国には、成田発 仁川着で向かった。空港には韓国人のバディが自分の名前を書いた紙を持ち、待っていて、リムジンバスで学校まで向かった。学校に向かう方法は電車とバスの 2 方法あり、時間はバスの方が早い。安いのは電車であるため、節約したい人は電車で行くのをすすめる。

自分はリムジンバスというバスで松島行きに乗車し、7000 ウォン（日本円で 700 円ほど）で約 40 分ほどで最寄りの駅まで向かった。そこからは、またバスに乗車し、1250 ウォン（日本円で 125 円ほど）で 10 分くらいのところに学校がある。

2. 到着後の手続きについて

2.1. 寮・ホームステイ等への入居手続き

学校到着後、まず寮に向かった。寮では、オフィスで名前を伝え、指紋認証の登録を行った。指示後、機械に右手の人差し指と中指を3回ずつ乗せ登録が完了する。その後、寮生カードを受け取り、部屋に向かった。寮はA棟B棟C棟に分かれており、A棟は男女、B棟は男子、C棟は女子となっている。それぞれの棟に入る際に指紋認証が必要であり、部屋の鍵は寮生カードである。寮生カードは寮内にいる際は必ず首から下げておく必要があると、携帯していないと、減点対象である。また門限や規則に違反したときも減点対象である。一階には共同キッチン、冷蔵庫、コインランドリー、ジムがあり、寮内に、パソコン室や自習スペース、ビリヤードなどもある。

寮内の学食では3800ウォン（日本円で380円ほど）で、つぎ放題の料理が食べることができる。各階の廊下には、給水機もあり、冷水と熱湯がでるため、便利である。寮内はとても快適だ。

2.2. 滞在許可・外国人登録の手続き

外国人登録書は、3月26日に学内の留学生全員で国際センターの職員と共に作成しに行く。受け取りは4月12日予定である。

2.3. オリエンテーション・学生登録・プレイスメントテスト等の学内手続き

オリエンテーションは3月4日に行われた。留学生だけのオリエンテーションで、9割英語で説明が行われる。資料に関しては中国語、韓国語、英語が用意されており、日本語はない。その後次の日の3月5日に韓国語のクラス分けテストが行われ、木曜日の3月7日より韓国語の授業は開始した。学内のオリエンテーション以外にも寮のネットオリエンテーションがあった。オリエンテーションは問題形式になっており、15問中12問正解しないと、もう一度ネットオリエンテーションを受けなければいけないようだ。

3. 目標について

3.1. 留学の目的、達成目標

まずは、たくさんの人と出会い、その人たちから学び、自分の力にすること。そして、韓国語と英語学習である。目標は帰国後の韓国語能力試験で準2級を取得すること。

そして、TOEICのスコアアップを目標とする。

3.2. これまでの学習・研修目標および達成度について

韓国で生活を始めて、一か月が経ったが、最近は日常的に聞く韓国語はもちろん、英語も来韓当初よりはるかに聞き取れるようになったように感じる。韓国に来てすぐの時は韓国語を話すときに緊張があり、上手く言葉が出て来ないことが多くあったが、ゆっくりではあるが、言いたい事を伝えることができるようになってきたと思う。ただ、ルームメイトが全員日本人であるため、日常的に日本語を使うことが多く、もったいないと感じることも多くある。そのため、自分より韓国語が上手い日本人学生に韓国語で会話させてもらったりしている。もっと韓国語を話す機会を多くしたい。

3.3. 今月の学習・研修目標

韓国語の授業、英語の授業に慣れること。そして復習予習をしっかりと行う事。

4. 学修について

4.1. 授業時間割

現在の学期	前学期
月	9:00-10:15 10:30-11:45 3級韓国語、13:30-14:45 15:00-16:15 韓国語理解基礎 16:30-17:45 North Korean Economy (English Class)
火	10:30-11:45 12:00-13:15 New Waves of Korean Culture (English Class)
水	
木	9:00-10:15 10:30-11:45 韓国語表現基礎、12:00-13:15 North Korean Economy (English Class) 13:30-14:45 15:00-16:15 3級韓国語練習
金	
土	
日	

4.2. 授業について

韓国語の授業では、ライティング、リーディング、スピーキング、ヒアリングに分かれており、その中でも会話を中心に文法を学びました。英語の授業では、共に授業を履修している、ラトビア人の友人と議論したり、分からなかったところを聞きあったりすることが非常に楽しく感じられてきた。最近、宿題なども出て、部屋で勉強することが増えてきたが、どうしても長時間机に向かっているとダラダラしてしまうので、それを直したい。

4.3. 予習・復習・自習について

韓国語の授業では2時間連続の授業のため、集中力が切れてしまうこともある。しかし教授が言った言葉でわからない単語があったら、その場でメモし、部屋に帰った後、調べている。北朝鮮経済の授業では、教授に許可をもらい、授業を録音し、何度も授業を聞いており、分からない言葉が出てくるとインターネットで検索したり、その日の行う授業内容を、事前にネットで調べ、予習している。

5. 生活について

5.1. 衣食住について

住居	学内寮（その他： ）
寮内に食堂があり、平日の朝は100円で食べることが出来るため、よく利用している。韓国はとても出前文化が発達しているため、寮のルームメイトと出前を頼み、食事を取ることも多い。韓国にきて、一番感じることは寒さである。韓国の冬は日本の冬より寒く、日本から持ってきた服では寒く、学校から30分ほどのところで服を買っている。寮の部屋はエアコン、暖房、床暖房までであるため、部屋の温度は快適である。部屋の広さとしては少し狭く感じるが、収納も多く思っていたよりは住みやすく感じる	

5.2. 課外活動について

現在学校公認のダンスサークルに所属しており、火曜日、木曜日の週 2 日学内で練習を行っている。また、自分が所属している日語日文学科の MT と呼ばれる歓迎旅行が 4 月初めにあり、そこで披露する K-POP のカバーダンスも韓国の学生と共に練習したりもしている。休日には近くのショッピングモールへ買い物に出たり、寮内でお菓子パーティーや出前パーティーをしてるルームメイトと交流をしている。

5.3. 現在までの感想

現在韓国生活を始めてから一か月が過ぎて、慣れてきたというのが一番の感想である。まだやり方や方法を知らず、バディーに助けってもらったり、友達に助けってもらったりすることも多いが、自分一人でも出来ることも増えてきた、まだまだ会話をしているという感覚とは程遠いが、他言語でコミュニケーションをとることに慣れてきた。韓国語、英語、日本語と一日に三ヶ国語を話すのは脳に負担が行くのか、毎日脳の疲労を感じている気がする。

以上

神奈川大学派遣交換留学生 近況報告書 (5月)

所属	人間科学部	人間科学科	学科 専攻
派遣先大学 (国)	仁川大学 (韓国)		
所属プログラム・ 学部・研究科	日語日文学科		
報告書提出日	2019年5月14日		

1. 目標について

1.1. 留学の目的、達成目標

英語力・韓国語力の向上。TOPIK 6級の取得。韓国での英語学習の実態の調査。各国の友達を作ること。

1.2. 先月の学習・研修目標および達成度について

先月は中間試験があった。英語での授業では分からない単語が減ってきたため、授業内容がスムーズに理解できることも増えてきたと感じる。またサークル活動で韓国語を多く話すため、韓国に来たときからはスムーズに言葉が出るようになった。北朝鮮経済の授業では、中間テストがあった。中間テストでは、しっかりと出来ているか不安であったが、クラスの平均点を上回り、自分では良くできたと感じた。これに満足せず、しっかりと学習していきたいと思う。The New Waves of Korean Cultureの授業ではプレゼンテーションもあり、日本で行く直前に学習したことが生きたと思う。

1.3. 今月の学習・研修目標

今月は大学の学祭があり、学業がおろそかになりがちなので、時間配分と効率のよさを重視して学習を進めていきたいと思う。そして来月にはまた期末テストが待ち構えているため、テストに向けて徐々に勉強を始めていこうと思う。

2. 学修について

2.1. 授業について

韓国語の授業では、新しい教科書に進んだ。韓国語の授業は進度が早く、ついていくのがやっとであったが、学習方法を少し変えたところ、進むスピードについていけるようになった。一授業で学ぶ単語数も多く復習も大変であるため、ともに学習をしている友達たちの学習方法を参考にしながら、日々学習している。

英語での講義になっている The New Waves of Korean Culture の授業ではプレゼンテーションの課題があった。プレゼンテーションの課題は自国の文化を紹介するというものであったが、何か特別なトピックについて紹介しなければいけなかったため、日本のおせちについて紹介をした。英語が母国語の人

たちの前で英語でスピーチをすることはとても緊張したが、しっかりと発表ができた。
北朝鮮経済では中間テストがあった。この授業では英語の分法の間違いは指摘せず、内容が理解できていることが分かれば点数をもらうことができるのであるが、文法もしっかりと間違えず回答したいと思った。これからもっと学習が必要であると思った。

2.2. 予習・復習・自習について

予習に関してはほとんどすることがない。理由としては、わたしが受講している講義では予習をしないで授業に参加する必要があるからである。しかし、韓国語の授業では単語が先に分かるため、韓国語の分からない単語の予習はとても重要だと考えている。

復習に関しては、予習が出来ないため、復習をしっかりとやるのが大切であると考えている。そのため、韓国語の授業では単語、文法の復習、でできた例文の音読を主に復習としている。

英語の授業では、その日理解できなかった単語や内容を日本語で検索し、日本語で説明を見てから英語でまたみて、という風に復習を行っている。また、ともに授業を受けている友達に質問をしたりと、協力をしながら学習している。

2.3. 語学力について

現状、語学力に関しては、韓国語は韓国に来た当初より、はるかにスムーズに単語や言葉が出てきていると思う。これはやはりサークルに所属していることもあり、多く韓国語を話すためであると思う。英語に関しては聞くという機会は多くあるため、教授の話を聞く、友達の話聞くなど聞くことに対して進歩を感じる。今まで日本に居た時は頭の中で英語を日本語に直しながら考えていたが、韓国に来て、ネイティブスピーカーたちとの会話をしていくにつれて、だんだんとその過程に省略が見られるようになったと感じる。しかし、未だに多くを話すという機会が少なく、スピーキングに関しては伸びというものをあまり感じられていない。これからはもっと話すことも頑張らなければならないと思う。

3. 生活について

3.1. 衣食住について

住居※ 学内寮（その他： ）

食に関しては、先月に入って自炊を始めた。やはり普段からコンビニで買った食事などで済ませていたが栄養も偏り、体に良くないと感じたため、自炊を始めることにした。頻度は多い日は一日に一食自炊と言うこともあるが、だいたい通常では一週間に4食ほどである。週末は学校の飲食店が開店していないため、自炊することが多い。衣食住で困っていることはなく、快適に過ごしている。

3.2. 課外活動について

私は韓国に来てから、日本語のサークルとダンスのサークルに所属している。今月末に学園祭がある関係でサークル活動が多くある。ダンスサークルでは学祭のステージにて公演を行う。練習が非常に忙しく、毎日疲れて寮に帰宅するが、多く韓国語を話す機会があり、ここ1ヶ月で韓国語が伸びたと感じる。

日本語サークルでも、文化祭で日本の居酒屋を再現した店を出店するため多くの日本人が参加し、手伝いながら行うようだ。今月末には韓国語クラスの K-POP 大会があり、私が所属している3級では K-POP のダンスを披露する予定である。そして日本語サークルのほうで韓国野球の観戦も予定しており

とても楽しみである。

3.3. 現在までの感想

現在までの感想としては、もうすぐ韓国にきてから 3 か月がたつが、慣れてきたということもあり、生活も楽にできるようになってきた。先月勉強の問題やサークルにストレスを感じ少し体調を崩すときもあったが、現在毎日本調も良く過ごすことが出来ているため良いと思う。今月が終わると来月からまたテストへの勉強が始まるため、勉強を頑張らなければという思いが強い。

以上

神奈川県派遣交換留学生 近況報告書 (9月)

所属	人間科学部	人間科学科	学科 専攻
派遣先大学 (国)	仁川大学 (大韓民国)		
所属プログラム・ 学部・研究科	日語日文学科		
報告書提出日	2019年9月 日		

1. 目標について

1.1. 留学の目的、達成目標

韓国語能力試験 6級合格を目指すこと。そして、TOEIC750点のスコアを取ること。韓国と日本の政治、経済、社会、文化の違いを学ぶこと。様々な国の人と交流をし、様々な国について知り、理解すること。

1.2. 先月の学習・研修目標および達成度について

まだ2学期が始まったばかりであるため、先月の学習というより前学期を通してどうだったかという事に対して記入する。

前学期では今まで学習をする機会のなかった経済分野の講義を履修していたため、試験に向けての復習にとっても時間をかけた。また前期で帰国してしまう留学生友達が多く、お別れ会などを通して、よりそれぞれについて知ることが出来たと思う。

これからの抱負としては、TOEIC、韓国語能力試験の受験に向けて勉強をすすめることである。

1.3. 今月の学習・研修目標

今月の学習・研修目標は、今月から2学期が始まったため、韓国生活の慣れに気を抜かず、予習復習をしっかり行うこと、そして来年度に控える就職活動に向けての準備と、語学試験に向けての準備を進めることである。そして現在韓国情勢が良くないため、安全に過ごせるように気をつけ、生活することを目標とする。

2. 学修について

2.1. 授業時間割

現在の学期	後学期
月	Principles of Sociology(10:30-13:20)、Special lecture on North Korean Economy(13:30-14:50)、Statistics For Economics(15:00-16:20)
火	Comparative Politics of Kore, China, and Japan(15:00-17:50)
水	College English Conversation2(16:00-17:50)

木	Statistics For Economics(9:00-10:20)、Special lecture on North Korean Economy(10:30-11:50)
金	
土	
日	

2.2. 授業について

授業が始まり間もないため授業の概要について記入した。

Principles of Sociology、社会学への理解を深めることを目標とした講義、テスト、ディスカッション、プレゼンテーションにて成績評価。

Special lecture on North Korean Economy は、北朝鮮への制裁をテーマとして展開される講義、テストにて成績評価

Statistics For Economics は韓国経済について理解を深める講義、テストにて成績評価

Comparative Politics of Kore, China, and Japan は、韓国、日本、中国が抱える問題を理解するという講義、プレゼンテーション、テストにより成績評価

College English Conversation2、大学英語会話の授業、テストによる成績評価

2.3. 予習・復習・自習について

現在、韓国語能力試験合格のためのテキストを進める事と就職活動のために SPI の勉強を進めている。講義自体はまだオリエンテーションばかりで内容に進んでいないため、これから授業が始まったら、予習、復習をしっかりと行っていきたいと思う。

2.4. 語学力について

語学力についてであるが、夏休み期間に入っていたため、サークル活動を主に行っていた。そのため韓国語の能力に関して非常に伸びたと感じる。韓国人の友人たちと意思疎通がスムーズに行えるようになり、サークル活動が言語に対するストレス無く、活動できるようになってきた。英語に関しては、前期にできた友人たちが自国に帰国してしまったのもあり、日常でほとんど英語を話す機会がへってしまった。最近ではジャパントイムズを一日 20 分ほど音読するようにしている。書店に行ったところ、自分が読んでいた小説の英語版があり、その本を今月中に読み終わることを目標としている。

3. 生活について

3.1. 衣食住について

住居*	学内寮 (その他:)
<p>仁川大学の学内寮では、1 学期、夏季、2 学期で 3 度寮の部屋が変わる。そのため、夏休み期間は、荷造りの連続という感じであった。現在第一寮の 8 階に住んでおり、前期でも同じ部屋であった日本人留学生と二人部屋で生活している。同室の友人の生活リズムが自分と違いすこし大変ではあるが、今のところ生活に支障が出るほどではないため、問題はない。前期に引き続き自炊もしており、コンビニエンスストアで購入した食事ばかりをしているほかの学生よりは、健康的な生活が出来ていると感じる。韓国は 9 月に入り、秋が来たというよりはもう冬が近づいているといったような、少し寒い日も増えて</p>	

きているため、風邪に気を付けて、しっかりとリズムの良い生活をしていきたいと思う。

3.2. 課外活動について

夏休み、現在と、9月末に行われる文化祭にむけてのサークル活動が頻繁に行われていた。夏休み中はおよそ、週に3回程度、現在は、週に4から5回程度練習がある。講義が終了した後の活動になるため、学習がおろそかになりがちであるため、時間配分を考え、過ごしていきたいと思う。

ダンスということを通じて、韓国語の勉強にもつながっていると感ずるため、今後の留学生にもサークル活動を進めたいと思う。

8月には日本にも一時帰国したこともあり、また一から気持ちを整えて、講義に励みたいと思う。

3.3. 現在までの感想

韓国での留学生活が残り4か月となり、いままで過ごしてきた6ヶ月を思いだしたところ、前の自分にはなかった考えや行動が近ごろ見られるようになったと感じる。

この留学を通して学んだことを、今後留学に来る学生や、これから留学のための準備を始める学生に伝えていけたらと思う。

悩みというまでではないが、やはり韓国と日本の関係が悪いということで、日本に対して韓国が敏感になっているため、そこに少し不安を感じる点がある。実際、自分の友人たちや、周りにそういった雰囲気を感じるということは今のところないのか少し安心であるが、今後ニュースや周りをよく見て、考えて行動する必要があると感じている。

以上

神奈川県立大学派遣交換留学修了報告書

所 属	人間科学部	学 科	人間科学科	4	年次
派遣先大学 (国)	仁川大学 (大韓民国)				
所属プログラム・ 学部・研究科	日語日文学科	履修言語	英語		
留学期間	2019年2月～2019年12月				
報告書提出日	2020年1月16日				

1. 学修について

1.1. 学期区分

学期	授業期間	試験期間	履修登録までの過程
春学期	3月4日 ～6月14日 (15週)	6月3日 ～6月14日	現地のバディとともに履修計画をたて、インターネットによる先着順の履修登録であった。そのため、一度目履修登録をした際、受講したかった講義が履修できず、また履修を組みなおして、登録を行った。
秋学期	9月2日 ～12月13日 (15週)	12月2日 ～12月13日	現地のバディに助けを得ながら、自分でインターネットにて履修登録を行った。今回は履修したかった講義を履修できたため追加や修正はしなかった。

1.2. 履修科目・内容

学期	履修科目名	合計時間	履修内容・授業での取り組み
		(内訳)	
春学期	Level3 Korean	37.5時間	月曜日に75分間の講義を2本続きで行う留学生用の韓国語で行われる授業である。文法、スピーキング、リスニング、リーディングを1つの教科書を通して学習していた。韓国語の講義は4授業全て続きの内容でなっていて、期末試験も4授業でまとめて一つであった。
		1.25(時間/回) ×2(回/週) ×15(週)	
春学期	Basic of Korean	37.5時間	月曜日に75分間の講義を2本続きで行う留学生用の韓

	Comprehension	1.25(時間/回) ×2(回/週) ×15(週)	国語で行われる授業である。上の授業続きで行われ、毎授業、ペアを組み、会話のロールプレイを行い、スピーキングの練習を多く行う授業であった。
春学期	North Korean Economy	37.5 時間	月曜日と木曜日に 75 分ずつ 2 回英語で行う授業であった。授業は教授の講義と共に生徒同士でディスカッションをしたり、分からないことや気になったことはすぐに教授に質問できるような少人数制の授業であった。試験は、中間試験、期末試験共に論述式の試験であった。
		1.25(時間/回) ×2(回/週) ×15(週)	
春学期	Basic of Korean Expression	37.5 時間	木曜日に 75 分間の講義を 2 本続きで行う留学生用の韓国語の授業。試験は中間試験では筆記テスト、期末試験では筆記テストに加えて、会話のテストを行った。
		1.25(時間/回) ×2(回/週) ×15(週)	
春学期	New waves of Korean Culture	37.5 時間	火曜日に 75 分二授業続けて行われる英語の授業。韓国文化について、教授の講義方式で進めていく授業であった。中間試験はそれぞれのテーマについてプレゼンテーションを行うことであった。期末試験は論述方式であった。
		1.25(時間/回) ×2(回/週) ×15(週)	
春学期	Level3 Korean Practice	37.5 時間	木曜日に 75 分間の講義を 2 本続きで行う留学生用の韓国語の授業。単語や文を音読したり、ペアで韓国語の会話を作ったり、自分で考えたり、発言したりする機会が多かった。
		1.25(時間/回) ×2(回/週) ×15(週)	
秋学期	Principles of Socology	37.5 時間	月曜日に 70 分に 2 授業続きで行われる英語の授業。社会学についての基礎を学ぶことが目的とされ、教授の講義方式で授業が進んだ。試験は中間試験、期末試験共に論文方式であった。
		1.25(時間/回) ×2(回/週) ×15(週)	
秋学期	Special Lecture on North Korean Economy	37.5 時間	月曜日と木曜日に 75 分ずつで行われる講義。少人数制の講義で講義中に教授も交えてディスカッションをすることが多い講義であった。北朝鮮についての英語の論文を読み、内容をまとめたプレゼンテーションを行った。試験は中間、期末ともに、論述方式であった。
		1.25(時間/回) ×2(回/週) ×15(週)	
秋学期	Statistics for Economics	37.5 時間	月曜日と木曜日に 75 分ずつ行われる講義であった。ほかの韓国人の学生と混ざり、統計について英語で学ぶ講義であった。中間、期末試験に加えて、2 度のミニテストや、課題を通しての成績評価である。
		1.25(時間/回) ×2(回/週) ×15(週)	

秋学期	Comparative Politics of Korea, China, and Japan	37.5 時間	火曜日に 75 分を 2 授業続けての講義であった。中国、韓国、日本それぞれの歴史映画を見たり、博物館にいったりと、講義以外でも目で見て学ぶことができ講義であった。試験はなく、自分の選んだテーマにおいてプレゼンテーションを行った。自分は日韓関係について発表した。
		1.25(時間/回) ×2(回/週) ×15(週)	
秋学期	College English Conversation 2	約 25 時間	水曜日に 50 分を 2 授業続けて行う授業であった。ネイティブ講師と会話、文法、リスニングなど教科書を使用して、勧められた。試験では中間試験がスピーキングテスト、期末試験ではスピーキングテストと筆記試験があった。
		0.83(時間/回) ×2(回/週) ×15(週)	

1.2 学修する上で心がけていたこと、予習復習の仕方について

分からないことがあったらすぐに調べたり、聞いたりするという事。日本にいた時は、分からないことも分からないままにしておくとどうかなるという気持ちがあったが、それは間違いで、分からないことを分からないままにしておく、どんどん分からなくなっていってしまうことを学んだ。予習復習ではとにかく毎日の復習予習が必須であったため、効率の良さという事を意識していた。予習では事前にレジュメやパワーポイントが配られるため、分からない単語等を調べてから授業に参加していた。復習としては、教授に許可をとり、講義の音声録音をさせていただき、後から音声を聞き、復習をしていた。

1.3. 語学力について

語学力に関して、留学前と比較して語学に対して積極的になったと感じる。今まで英語に対しての苦手意識があり、英語を学習することがあまり好きではなかったが、実際に韓国に留学し、各国人々と英語でコミュニケーションをとったことで英語学習の楽しみを知った。また講義でのプレゼンテーション、ディスカッションを通して、語学に対する積極性が身についたと感じる。自分から発言する積極性は特に身についたと思う。

2. 留学の成果を振り返って

2.1. 学修の成果

学習の成果としては、まず英語学習について、単語力やリスニング力が向上したと感じる。そして、大学での講義を通して、多くのことを知った。今まで日本では学ぶことも、興味もなかった政治や経済について、そして、韓国の文化を学んだ。韓国に来たことで、北朝鮮についてや日韓関係について新しい観点を得られた。また、今まで自分は人の前に立ったり、自分から発言することが得意ではなかったが、英語にてプレゼンテーションやディスカッションをしたことで、自分に自信がつき、あまり緊張をしなくなったと思う。そして、新しいことを知ることがとても面白く、自分のためになるという事を学んだ。ほかの国の国事情を知ることによって世界をもっと理解できたような気がする。そして、留学に行き海外で学習をしたことで、もっと海外で学びたいという気持ちも大きくなった。韓国

での留学生生活は私に新たな思考やビジョンを生んだと思う。

2.2. 学修面での反省点ならびに留学志望者へ学修面のアドバイス

反省点としては、もっと留学当初からアクティブに活動すべきであったと思う。学習に関して、留学に行ってから一か月、二か月は授業に参加して、課題をして、サークルに参加して、ただそれだけの日常であった。今考えるともっと、勉強もその他の活動も、自分から積極的に行っていたら今よりももっともっと上達が早かったのではないかなどと考える。そのため、これから留学に行く方々へ、初めからガツガツとチャンスをつかんでいこうとしなければならぬと思いつつ、積極的に活動してほしいと思う。

2.3. 留学生生活で得られたもの

まずは家庭力であると思う。今まで自分は実家暮らしであったため、洗濯、料理など家事をしたことがなかった。しかし、韓国に来て家事をするようになったこと、料理がストレスの解消法になったこと。家庭力が上がったと思う。次には、自分の心をコントロールする方法を学んだ。初めてあった人たちとの共同生活をしてきたため、心を乱さず、平常心を保つことが重要であったと思う。また自分は現地のサークルに所属して、サークル活動をしていた。初めはサークルに入るための書類に自分の学年や名前すら韓国語で書くことが出来なかった。しかし、サークルでは日本語を話すことのできる学生はおらず、伝達事項や会話を理解することにとっても苦労した。初めの方では自分に自信もなく、話して間違えることや伝わらないという事が恥ずかしく、せつかく話しかけてもらっても、分かったふりをしたりしていた。しかし、それでは、自分は成長できないと思い、明るくコミュニケーションをとるようになったと思う。海外でコミュニケーションをとる際は明るく元気に会話を楽しむことが大事だと気付いた。

2.4. 留学生生活での反省点ならびに留学志望者へ生活面のアドバイス

留学に行ったことで気持ちへの変化が大きかった。良いことがあると異常に高揚し、良くないことがあると何もする気がなくなる。そういった状態があったため、留学に行く前からメンタルに対するケアをしていく必要があると思う。そして、自分の現地での大学の授業で使用する言語（自分だと英語）だけではなく、現地の言葉(自分だと韓国語)をもっと勉強していくべきであったと感じた。理由としては、生活に必要不可欠の言語であったと感じるし、もっと初めから韓国語が分かっていたら体験できたチャンスも多くあったと思う。留学生生活は長いようで短かった。そのため、自分に降りかかった経験やチャンスを自分のものにし、自分の経験値にするには何事にも挑戦してみるということと、失敗を恐れないということだと思う。自分は面倒や失敗をさけるために、いままで楽な道ばかりを選択してきたと思う。しかし、面倒や失敗を乗り越えていくことが、自分の経験値になり、もっと自分を成長させてくれるのだと知った。そのため、これから留学に行く学生の方々には、挑戦するという気持ちを多く持ち、アピールしていただけたらいいと感じる。失敗もあらかた留学生、外国人ということで許してもらえる。環境というのは本当に大事だと思うため、自分を挑戦という環境に置き、自分を追い込むことも大切である。そこで追い詰められたときに助けを求められる存在も必要だと思う。自分の両親や友人、国際センターの職員さんたちでもいい。もちろん現地地でであった友人でもいいと思う。ただ、留学生生活に行ったとき、自分の母国語を全く話さないようにという人もいると思うが、自分はそこまでする必要はない

と思う。何故かという、それは自然なのではと思うからだ。日本人がいたら、日本語を話し、韓国人がいたら韓国語で話すのは普通である。そこを無理に英語にしたり、韓国語にしたりすることはストレスがかかるだけだと思う。ただ、日本人とばかり生活しては留学に来た意味も半減してしまう。私が言いたいのは、無理に制限や縛りを設けるのではなく、そのストレスは必要のないストレスで、現地の友人と一生懸命話したり、試験のために一生懸命勉強したり、上手くコミュニケーションが取れなくて、ストレスを感じるかもしれない。その時こそ乗り越えるストレスであり、余計なストレスは身を亡ぼすだけであると思う。縛りやルールを設けすぎるのは思考を狭め、成長を妨げると私は思う。心を楽にして余計な思考は放っておき、何でも自分に取り込み受け入れ学んでいくことが、留学に行った際の成長への近道であると思う。そのため、多くの友人を作り、多くの場所を訪れ、多くのことを学び、そうしていくことで、帰国した際に語ることのできる出来事が多くなると思う。

留学にあって多くの経験を経て、これから羽ばたいていけるように、多くを学んで帰って来て欲しいと思う。

派遣交換留学中の生活等に関する調査

国際センター

記入年月日：2020年1月17日

所 属	人間科学部 () 研究科	人間科学科・専攻	4 年次
派遣先大学	仁川大学		11 ヶ月間

I. 留学先での住居について

1	住居形態は 何でしたか？	<input checked="" type="checkbox"/> 学内寮 <input type="checkbox"/> 学外寮 <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> 民間アパート <input type="checkbox"/> その他 ()
2	住居形態の詳細を教えてください。	(前期は日本人3人と四人部屋、後期は日本人と二人部屋、ワンルームにベッドがあり、その下に机などがついているタイプ)
3	入居時手続き	(寮費は後日振り込みにて、事務室にて入寮のために指紋登録をおこない、寮生カードをもらって入寮完了)
4	費用 (月額)	120000 (ウォン) (食費含まない/月)
5	支払方法	4 か月分まとめて振り込み
6	住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 洗面所 <input checked="" type="checkbox"/> トイレ(共同) <input type="checkbox"/> トイレ(個別) <input checked="" type="checkbox"/> シャワー(共同) <input type="checkbox"/> シャワー(個別) <input type="checkbox"/> 浴槽 <input checked="" type="checkbox"/> 冷暖房 <input checked="" type="checkbox"/> 台所 <input checked="" type="checkbox"/> 食堂 <input checked="" type="checkbox"/> ジム <input checked="" type="checkbox"/> 洗濯機 <input checked="" type="checkbox"/> 乾燥機 <input type="checkbox"/> その他 ()
7	住居選択方法	<input checked="" type="checkbox"/> 渡航前に申込 <input type="checkbox"/> 留学先大学の斡旋 <input type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者・新聞を通じて <input type="checkbox"/> その他 ()
8	周囲環境	(学校の近くには何もない、10分ほどバスに乗ると大きなマートがある)
9	アクセス	(学内寮、学校の最寄り駅まではバスで10分ほど)
10	留学中の住居に関して アドバイス	(すこし狭く窮屈である)
11	引越された方は引越 し先の住居形態を記入 ください。	<input type="checkbox"/> 学内寮 <input type="checkbox"/> 学外寮 <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> 民間アパート <input type="checkbox"/> その他 ()
12	詳細を教えてください	()

II. 通信環境について

1	日本キャリアの携帯電話	持参した
2	現地キャリアの携帯電話	現地でSIMカードを購入
3	現地携帯電話の取得手続きの方法	(学内に携帯ショップあり)
4	自宅のインターネット接続環境	無線 (大学または寮へのLAN接続)
5	大学内インターネット接続環境	無線 (大学または寮へのLAN接続)

III. 留学費用について

諸経費 (1ヶ月の平均)		
1	宿舍費	100000 (ウォン) /月
2	食費	200000 (ウォン) /月
3	交通費	20000 (ウォン) /月
4	通信費	3300 (ウォン) /月
5	娯楽費	100000 (ウォン) /月
6	図書費	0 (ウォン) /合計
7	学用品 (教科書など)	50000 (ウォン) /合計
8	被服費	50000 (ウォン) /合計
9	医療費	0 (ウォン) /合計
10	雑費・その他	50000 (ウォン) /合計
上記以外にかかった大きな金額の内訳 (留学準備期間含む)		
11	出願料・宿舍デポジット	0 (円) /合計
12	ビザ申請関連費	0 (円) /合計
13	航空券代 (休暇時旅行費用は除く)	70000 (円) /往復
14	その他	110000 (円) /合計
15	留学全日程に要した総額 (概算)	200000 (円) /合計
お金の持って行き方		
16	<input checked="" type="checkbox"/> 現金 (渡航時: 30000 円) <input checked="" type="checkbox"/> 国際キャッシュカード (銀行名: 楽天銀行) <input type="checkbox"/> 海外送金 <input type="checkbox"/> その他 ()	
17	現地で銀行口座開設	した

18	手続き方法・利点・欠点	銀行で外国人登録証発行後開設可、韓国はネットマネーやクレジットカード文化で、友人と割り勘する際、韓国の口座をもっていると、振り込みが楽にできる
19	お金に関するアドバイス	特になし

IV. 保険・医療について

1	海外旅行（留学）保険の種類	D19 (10か月分で110000円)
2	留学中に病気・けが等をし、通院・薬の処方を受けましたか？	いいえ
3	日本から持参した方が良かったなと思う薬などがありますか？理由はなんですか？	特になし

V. 持ち物について

1	日本から持っていったもの
	電圧変換機、パソコン、薄い毛布
2	現地で購入したもの
	まくら、シーツ、ハンガー、ヘアドライヤー
3	(自分は持っていかなかったが) 日本から持っていったら便利だと思ったもの
	日本食品

VI. 留学先で困ったこと

言葉が通じないときが大変であった

VII. その他、後続の学生へのアドバイス

韓国は気候も日本と似ていて住みやすく、おすすめである。
